

西九条佐保線等の事業認可説明会議事概要【大安寺地区】

- | |
|--------------------|
| ○日 時：平成28年7月31日（日） |
| ○時 間：19:00～21:00 |
| ○場 所：大安寺小学校 体育館 |
| ○出席者：149名 |

○事業認可説明会における質疑応答

（質問） 周辺の水路はどうなるのか。

（回答） 大森高畑線付近は公共下水道に流し、菩提川、JRと併走する区間は、直接、菩提川に排水します。JRとの交差部から県道京終停車場薬師寺線の区間は、八条川に排水します。県道京終停車場薬師寺線以南は南側の都市下水路に排水します。

（質問） 八条川は、どのようになるのか。

（回答） 西九条佐保線が原因で八条川があふれることがないようにします。現在、県道京終停車場薬師寺線に歩道を設置することを検討していますが、奈良市の八条川の改修について県がお手伝いできることがあると考えています。また、周辺の治水対策については、国、県、市、JRと調整を図りながら進めます。

（質問） 八条川の川幅は変わるのか。

（回答） 奈良市の改修計画では、今より大きくなります。

（質問） この地域が発展するためには、色々な計画を進めることが必要なことは判った。メリット、デメリットはあると思うが、デメリットについて、どのように考えているのか。

（回答） 西九条佐保線が整備されると、今まで静かな場所に車が通るようになり、騒音は大きくなりますが、環境基準を上回ることはありません。また、工事においても騒音等が発生しますが、できるだけご迷惑がかからないように工事を進めます。工事前には工事説明会を実施し、地元にご理解頂いて、工事を進めたいと考えています。

（質問） 今の説明の中に、新駅周辺のまちづくりや駅前広場の説明がなかった。我々が一番知りたいのはそこである。

（回答） 駅前広場は現在検討中で、秋頃には説明できるようにしたいと考えています。県道京終停車場薬師寺線も、自転車や歩行者に安心して通っていただけるように歩道の設置等を検討しています。また、今年度、市街地も含めた「JR新駅周辺地区」の基本構想を進めて行くと奈良市から伺っています。

(質問) 奈良市の(仮称)奈良インターチェンジ周辺まちづくり基本構想は既に公表され、新駅の東口広場や観光用P & R駐車場と記載されているのに、なぜ説明がないのか。

(回答) 大安寺、八条地区のまちづくりについて、インターチェンジや新駅が設置されることを踏まえ、奈良県と奈良市がまちづくり包括協定を結び、協働で検討を進めています。この地区を奈良市の南の玄関口にしたいと考えており、平成27年度には新駅周辺の市街化調整区域においてどういう街にしていくのが良いかについて検討しました。引き続き、今年度は、市街地を含めての基本構想策定を進めていく予定です。現時点で申し上げられる範囲で言いますと、駅の西側は主に日常生活で利用する駅前広場を、東側は主に観光客が利用する駅前広場と(仮称)奈良インターチェンジから降りた車を奈良中心市街地に多く流さないために、観光用P & R駐車場を設けることを考えています。土地利用については、商業・観光・交流施設、住宅、健康福祉等のゾーンを設けたいと考えています。具体的に決まってきた段階で、地元の皆様に説明します。【奈良市回答】

(質問) 配付資料1ページでは、(仮称)奈良インターチェンジより南側の西九条佐保線について、黄色の線で描かれているが、途中で切れている。どうなるのか。

(回答) (仮称)奈良インターチェンジの南側の交差点までを県が整備します。それより南側の区間については、まちづくりに合わせ、奈良市が整備する予定です。

(質問) 平成36年度の時点で、奈良市が整備する西九条佐保線が開通していない可能性はあるのか。

(回答) 奈良市で検討している民間活力による面的整備に一部含まれており、その進み具合に合わせて、県の施工区間につなげていきたいと考えています。【奈良市回答】

(質問) (仮称)奈良インターチェンジができると、多くの車が狭い県道京終停車場薬師寺線を抜けると思う。そうなると、増々、状況が悪化する。

(回答) 京奈和自動車道大和北道路と西九条佐保線を整備することで、国道24号の渋滞が緩和すると考えています。国道24号の柏木町交差点については、渋滞が解消するように交差点改良を考えています。また、大安寺の南側の東西方向の市道を、県とも協力しながら改修します。また、今後、大安寺の周辺において新たな道路が整備されますので、今までよりも交通の流れは数段よくなります。

(質問) 大安寺の南側の東西方向の市道は、大安寺の西側でぐいちになっているが、それを含めて拡幅するのか。

(回答) 拡幅し、西九条佐保線までつなげます。

(質問) 大安寺の町内では、県道京終停車場薬師寺線は狭く、横の溝によく車のはまっている。高齢者や学童もよく通る道であるが、時速30kmの速度制限があるにも関わらず、それ以上の速度で通過する車が多い。また、大型車規制があるにも関わらず、大型車が抜けている。規制を考えない限りは、現状と変わることはないと思う。そのあたりのことをどう考えているのか。

(回答) 西九条佐保線東側の信号機のある交差点から国道24号の柏木町交差点まで、歩道の設置を計画しています。西九条佐保線東側の信号機のある交差点から県道木津横田線の区間については、人家が連担し、拡幅が困難なため、大安寺南側の市道をバイパスとして整備し、交通の流れをこちらに転換したいと考えています。この道路が整備された後には、県道京終停車場薬師寺線の狭い区間の規制について、地元や警察を交えて協議したいと考えています。

(質問) (仮称) 奈良ICの開通はいつか。

(回答) 西九条佐保線、新駅及び新しいまち開きも含め、平成36年度を目標にしています。京奈和自動車道も、できるだけ早期供用を国に要望しています。

(質問) 大安寺の南側で、国道24号まで抜ける道路が(都市計画道路)八条紀寺線として都市計画決定されていたが、昨年度に廃止になった。その代わりとして、大安寺南側の東西方向の市道を拡幅するのかどうか明確にしてほしい。

(回答) 大安寺の南側の東西方向の市道は、現在はセンターラインのない道路ですが、車がスムーズに走れる2車線道路に改良したいと考えています。史跡保存上の規制が厳しい場所もあるため、文化財関係者とも協議を進めます。

(質問) 文化財調査の結果、事業が中止になる可能性はあるのか。

(回答) 周知の遺跡地図から見て、事業が中止になる心配ないと思います。現地で保存するのではなく、どこに、どのような遺構遺物があつたのかを記録で残す記録保存になると考えています。

(質問) この計画は車のための道路づくりであって、街が美しくなるとか、環境問題をどのようにクリアするなどの新しい発想が全然ない。安全で美しい道路を作っていただきたい。その点について伺いたい。

(回答) 環境については、例えば騒音が環境基準を上回ることになれば、防音壁を設置します。騒音対策が必要となった段階で、設置方法について地元と相談させていただきます。また、植樹帯の植物についても、今後、地元の皆様と協議していきたいと考えています。

(質問) 新しい発想で、この街にふさわしい道路をどう作るのかの提案がほしい。

(回答) 奈良県では、今、景観を大切にすることに取り組んでいます。地権者さんのご協力が得られるなら、景観に配慮した環境帯的なものも検討します。

(質問) 知事はこのあたりを奈良市の南の玄関口にすると言われているが、どのように進めるのか。国道24号は渋滞しているし、町内の道も狭い。将来、この辺りが、車でぐちゃぐちゃにならないか心配している。大安寺の南側の市道は、改修をしてもらいたい。また、京奈和自動車道がいつできるかも聞きたい。

(回答) 大安寺南側の市道の改修については、計画が詳細に決まった段階で地元の皆様に話をします。京奈和自動車道大和北道路については、平成36年度を目標とする西九条佐保線、新駅、まちづくりと一体となった供用を国に要望しています。京奈和自動車道の郡山下ッ道ジャンクション～(仮称)奈良インターチェンジ間と西九条佐保線ができると、県南部からの奈良市中心市街地へのアクセスがスムーズになり、生活道路への車の流入も減ります。

(質問) かなり緑豊かな田んぼがあり、我々はそれを守っている。この先、水のことを含め、この先どうなるかを心配している。住民、生産者の気持ちを考えて進めてもらいたい。

(回答) この周辺では、西九条佐保線、京奈和自動車道大和北道路及び新しいまちづくりの事業等が同時進行しますが、それぞれが単独で進めるのではなく、役割分担を明確にしつつ、総合的に取り組むことで、地元にご迷惑をかけないようにしたいと考えています。

(質問) 田園地域では、農業主体で活動されている方も多いが、市街化区域にしていくということは、農業はここから撤退してもらいたいと県や市は考えているのか。

(回答) 現在の市街化調整区域でも、許可される建物がかなりあります。そうした場合には無秩序に建物が並びますので、それを防ぐため、将来どのような土地利用がふさわしいかの方向性を構想として検討しました。構想ではインターチェンジや新駅ができることから、観光の玄関口にふさわしいまちづくりを進めたいと考えています。整備手法としては、市が主体の土地区画整理事業では時間がかかりますので、民間の組合等主導のまちづくりが進められないかと考えています。【奈良市回答】

(質問) 南側の西九条佐保線についても、平成36年度までに整備を進めてもらいたい。

(回答) まちづくりの中に南側の区間も含まれますので、まちづくりと合わせて、平成36年度までの開通を目指しています。【奈良市回答】